

講習No.
U09
選択

授業と学級経営の相乗効果で子どもの可能性を伸ばす

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 **平成27年7月31日(金)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師	大前 暁政(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)
70人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 **小学校教諭**

講習の概要

よい学級は、子どもが生き生きと過ごし、自分の可能性を伸ばしているという実感をもっています。そのような学級を創り出すための、授業や学級マネジメントの方法を紹介します。現場から生じるさまざまな問題、教師の悩み等をふまえながら、理論だけでなく現場ですぐに役立てられる実学を修得することを目的としています。学級経営と授業を関連させていくことで、相乗効果が得られることを、実例をもとに解説します。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
学級マネジメントの方法論と実践 学級経営の筋道を、「学級のシステムづくりと学級の成長段階」、「マネジメントサイクル」、「個々の子どもへの目標意識の持たせ方、差別いじめ防止法」の三つに分けて理論を紹介するとともに、実践について解説する。	学級経営と授業を関連させ、相乗効果を生み出す方法 学級経営の中で設定した個々の子どもへの目標を実現していくための、授業における役割を紹介する。また、子どもを伸ばすための授業のやり方の基礎技能を解説し、演習を通して体験的に授業の方法論を学ぶ。	配慮を要する子への対応法と授業技術 特別支援を要する子どもや、生徒指導上問題を抱えた子どもに対して、どのようにアプローチしていくかを、目標像の設定と、日々の指導記録、フィードバックサイクルなどの観点をもとにして解説する。	まとめ・修了認定試験 学級マネジメントの理論をもとにして、実際に自分の学級でどのような目標と手立てが考えられるのかを演習してまとめとする。最後に、マネジメントの理論や授業理論、発達障害などの知識や技能について、試験を行う。